

大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施

～大規模災害に備え、関係機関と行動を確認・共有しました～

近年、九州北部豪雨、平成30年7月豪雨(西日本豪雨)など大規模な土砂災害が頻発しています。

このような大規模な土砂災害に迅速に対応するため、国土交通省松本砂防事務所では、平成25年度に管内の関係行政機関とともに「信濃川上流・姫川流域地域連携会議」を設置し、災害発生時の役割分担や連携内容を確認するため、防災訓練に取り組んでおり、平成30年度は糸魚川市を対象として、大規模土砂災害発生時に地域住民の皆様の安全安心のために、関係機関が取るべき一連の行動を確認・共有し、危機管理体制の強化を図ることを目的とした合同防災訓練を開催しました。

日時：平成30年10月29日（月）13:30～17:00

場所：新潟県糸魚川市 糸魚川市会館ふれあいセンター
ビーチホールまがたま

【参加機関】糸魚川市、新潟県、新潟地方气象台、松本砂防スペ
シャルエンジニア、北陸地方整備局、松本砂防事務所

【解説者】国土交通省国土技術政策総合研究所
土砂災害研究部砂防研究室
室長 内田 太郎 氏

【見学者】糸魚川市地域住民、松本市、大町市、白馬村、
小谷村、長野県 他

計94名

糸魚川市長による講評

普段はそれぞれの立場で訓練を実施しているが各機関が一堂に会することに今回の訓練の意義があったと思う。訓練実施の様子を拝見し、心強く思った。今回の訓練を振り返り今後活かしていきたい。



糸魚川市長
米田徹氏



訓練実施状況



多くの地域住民の方の見学参加

【災害想定】

台風に伴う豪雨により、新潟県糸魚川市を中心に河道閉塞・がけ崩れ・地すべり等が同時多発に発生。



訓練資料

河道閉塞 イメージ図(CG)